

令和7年度予算に対する公明党市議団の意見表明

令和7年度の一般会計と特別会計17会計（企業会計含む）および合計の全会計規模

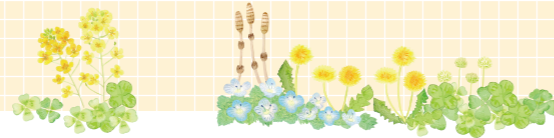
一般会計	5,512億円	増減率 +8.2%	対前年比 +418億円
特別会計	4,597億500万円	増減率 +3.6%	対前年比 +159億5,000万円
合計	1兆109億500万円	増減率 +6.1%	対前年比 +577億5,000万円

新年度予算案の審議に当たっては、市長の提案理由の説明や我が会派の代表質疑に対する答弁、更には予算審査特別委員会における審議などを通じ、各種施策を慎重に検討して参りました。

その結果、新年度予算案は、厳しい収支見通しの中、歳入確保や歳出削減の取組みを進めるとともに、国の地方財政対策を適切に反映させたほか、なお不足する収支の財源対策として、財政調整基金からの繰入れなどにより収支の均衡が図られたところであり、厳しい財政状況の下での予算編成でありました。

しかしながら、国の補正予算を活用して2月補正と連動した予算編成とし、防災・減災対策の強化や少子超高齢社会の進展を踏まえた医療・介護施策、未来を担うこども・若者支援、学びを支える教育環境の充実や、持続可能な公共交通ネットワークの構築など、市民生活に密着した様々な施策が進められており、併せて、脱炭素社会の実現、共生の社会づくりの推進、地域経済の新たな担い手の創出に向けた取組みなど、本市の特性を生かした未来志向の施策が展開されていることが確認できました。

また、基金からの借入れについても、一定の返済額を計上するなど、財源に限りのある中で健全性に配慮されており、更に、長引く物価高騰対策を含む、市民の意見や要望を集約した公明党千葉市議会議員団の、令和7年度予算編成に関しての要望に対する一定の取組みも認められ、新年度予算案を評価すべきものと判断致しました。



公明党市議団が提出した意見書が採択されました！

終戦80年を契機に国と地方自治体が連携した世界平和の推進を求める意見書

本年は終戦80年を迎えます。市民を守るべく核兵器の廃絶・軍縮を目指した取組みや、戦災資料・戦争体験の継承や国際的な草の根交流の推進を地方自治体と連携するように国へ求めた意見書を、全会一致で可決し、国に送付することになりました。

市政に関するご意見やご要望をお寄せください！

年齢・お住まいについて（該当するものに✓をおつけください。）

- ▶お住い 中央区 花見川区 稲毛区 若葉区 緑区 美浜区
▶年齢 20歳未満 20～39歳 40～59歳 60～74歳 75歳以上

お寄せいただいたご意見・ご要望については、政策提案等に役立ててまいります。 **FAX.043-245-5584**

公明党千葉市議会議員団 TEL.043-245-5483 <https://chibakomei.com/>

公明党千葉市議会議員団

市議会だより

発行日/令和7年3月 発行/公明党千葉市議会議員団
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1

2025
春号

中小企業・小規模事業者等の“稼ぐ力向上へ！”



国のGo-Tech(ゴーテック)事業の補助金を活用する市内企業視察

令和7年千葉市議会第一回定例会の代表質疑において、中小企業・小規模事業者等が景気回復を実感できる支援の強化を求め、IT導入などによる生産性向上、税制優遇など国支援の活用、持続的な賃上げの実現に向けた本市の価格転嫁対策等の取組みについて伺いました。

市長からは、「中小企業が抱える、人手不足や恒常的な賃上げの実現などの課題を解決するためには、経営や設備機器におけるDX化を進めることは大変重要であると考えており、生産性向上や業態転換を図るためのICT化をはじめ、新分野進出等の事業変革や製品、サービスの付加価値を増す取組みなど、市内中小企業のDX化の支援に取り組んでいる。」

「市内中小企業に、国の支援制度の積極的な利用を促すため、市産業振興財団HPでの国支援制度の周知や、コーディネーターによる支援企業にマッチする国支援制度の紹介および活用にあたっての助言・申請手続きの支援等を行っており、今年度も、支援企業が国の「成長型中小企業等研究開発支援事業Go-Tech（ゴーテック）」の補助金採択を受けるなどしている。」

「中小企業の持続的な賃上げ実現のためには、価格転嫁の円滑化に向けた取組みが非常に重要であり、国が推進する「パートナーシップ構築宣言」の認知度向上や、昨年10月の九都県市首脳会議で紹介された「価格交渉に役立つ各種支援ツール」の市内事業者への利用促進を図るため、本市HPに掲載するなどの取組みを通じて、中小企業の賃上げにつながるよう、円滑な価格転嫁を後押ししていく。」との答弁がありました。

令和7年
第1回 定例会

公明党市議団の代表質疑から

インバウンド（観光振興）に向けた取り組み!!

訪日外国人旅行者数が、過去最高を更新している中、本市の観光コンテンツについて、今後の取組みを伺いました。

市長からは、「市内の観光振興では、本市への誘客拡大および回遊性の向上を図るため「千葉あそびのWEB化に取り組んでいく。」

特にインバウンドの取り込みにあたっては、消費動向などのデータに基づき、本市観光の魅力の認知度向上のためのプロモーションを強化する。」との答弁がありました。

市内には多くの観光農園があり、特にいちご農園は外国人に人気のある観光資源となっています。

日本のいちごは海外のものに比べて品種の多さ、甘さが圧倒的で、多くの外国人旅行者を魅了しています。今後、市内のいちご農園がより多くの外国人旅行者に知られ、その素晴らしさを体験していただけることを期待します。



市内いちご農園視察

畜産農家への支援について!!

畜産業における近年の課題として、飼料価格の高騰による経営の圧迫化があげられます。飼料の大半を輸入に頼っている状況下、飼料コストを低減し、持続的に畜産物を生産するには、国産飼料の生産・利用の拡大を進めるなどの取組みが必要です。そこで、本市における畜産業の「位置づけ」やこれまでの支援状況、今後の取組みの方向性について質問しました。

副市長からは、「畜産業は、地域経済を支える産業の一つであり、これまで施設整備や機械導入への助成、家畜伝染病予防対策などを実施してきた。今後、短期的には「畜産飼料価格高騰対策事業」による支援、中・長期的には、輸入飼料に頼らない「耕畜連携」の取組みが必要であり、本市の状況に即した「耕畜連携」を引き続き促進し、本市畜産業の持続性の確保につなげる。」旨の答弁がありました。

市議団として、畜産農家への支援について、引き続き働きかけてまいります。



市内畜産農家さん視察

橋りょう・歩道橋整備の対策強化!!

市民の安全や生活基盤に係る橋りょう・歩道橋は、昭和40年から50年代の人口急増期や、幕張新都心や大規模団地などの開発により整備されたものが多く、市内の橋りょうは558橋、歩道橋は75橋を、現在、千葉市が管理しています。

市議団では、橋りょう・歩道橋の老朽化の目安となる建設後の経過年数が50年を超えるものは約20%である中、今後20年間で約90%となり、ほとんどが50年以上経過することから対策の強化を求めました。

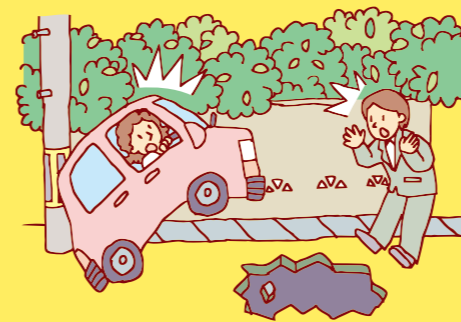
副市長から、「長寿命化修繕計画を着実に推進するため、積極的な新技術の活用やスケールメリットを活かした発注に努め、橋りょうについても撤去・集約の検討に着手することで、経費の削減や、耐用年数を伸ばすためこれまで蓄積してきた点検や修繕の結果をもとに、適切な修繕を行うメンテナンスサイクルの確立に取り組む。」旨の答弁がありました。

本町小学校前歩道橋整備



Topics

下水道管路の緊急点検を実施!



埼玉県八潮市の下水道管路の破損に起因すると考えられる陥没事故を受け、国は1月29日付で流域下水道管理者である県に対し、晴天時1日最大処理量300,000m³/日以上の大規模な下水道管路について、腐食等の異常により道路陥没の恐れがないか目視等による緊急点検を行うよう要請しました。

千葉市が所管する下水道管路はこれに該当しませんが、独自の対応として、南部浄化センターに接続している口径2,000mm以上

の汚水幹線(約9km 中央区矢作町～村田町)のほか、過去の点検結果に基づき改築を予定している管路について、1月30日から2月5日にかけて目視等による緊急点検を実施しました。

その結果、すべての個所で土砂等の堆積もなく、異常はありませんでした。



カメラによる点検



路面状態の確認